

第 43 回協議会・第 49 回幹事会の議事要旨

沖縄県公共交通活性化推進協議会

令和 8 年 3 月 2 5 日（水）

1. 第 43 回協議会 議事要旨

日時：令和 7 年 8 月 12 日（火）10:00～12:00

場所：中小企業振興会館ホール

議題

(1) 沖縄県公共交通活性化推進協議会規約の改正について

発言者	主な指摘・意見	回答
池田会長	● 内容について意見はあるか。	(一同) ● 異議なし。

(1) 令和 6 年度決算及び監査報告について

発言者	主な指摘・意見	回答
池田会長	● 内容について意見はあるか。	(一同) ● 異議なし。

報告

(1) 第 42 回協議会・第 48 回幹事会の議事要旨について

(2) 基幹バスシステムの導入に向けた取組について

(3) 沖縄県中南部都市圏 P T 調査 計画課題に関する現況分析について

(4) 沖縄市の交通拠点まちづくりについて

発言者	主な指摘・意見	回答
琉球バス 交通 小川委員	● 現在、那覇～伊佐の間でバスレーンが運用されているが、特に大謝名～宇地泊については、一般車両の混入が多く、バス運行の遅れが生じている。このため、既存バスレーンに関しても、P R 等によりバス定時性が確保されるようお願いしたい。 ● 協力型バスレーンに関しても、例えば広報車両等で周知するなどの取組みもあると思う。協力型バスレーン運用にあたり、具体的な周知の方法について教えていただきたい。	(事務局) ● 既存バスレーン区間については、まずは走行性に関する現状の把握を行っていきたいと考えている。 ● 今年度のバスレーン W T 等での意見交換も行いながら、広報手法について検討を行い、次回協議会で報告していきたい。

発言者	主な指摘・意見	回答
宜野湾市 和田委員	- 西普天間開発により、住宅地への車の流入などで、通学時の危険性が増しており、地元からも苦情が寄せられている。また、普天間交差点の北向きの渋滞が生じていることについても地元から意見が寄せられている。今後も開発に伴う交通が道路に及ぼす影響等に注視していただき、対策に取り組むことへの支援、協力をお願いしたい。 - バスレーン延長の取組に関して、本市の東西を結ぶ県道宜野湾北中城線は、様々な交通が混在し、朝夕の慢性的な渋滞を引き起こしている。また、若者の街として活気が出てきたヒルズ通り商店街の荷下ろし機会を奪うことにもなるため、地元への説明は丁寧に実施して欲しい。本市としても、協力型バスレーンの取り組み実現に向けた協力は惜しまない。	(事務局) - 今年度の西普天間交通対策WTの中でも、引き続き交通状況や対策の状況などを共有しながら、議論を進めていきたい。 - バスレーン延長に関しては、通り会からのご意見があることは伺っており、宜野湾市とも一緒になって丁寧に説明できるようにしていきたい。
沖総局 運輸部 本村委員	既存のバスレーン区間で、バスレーンが途切れている区間が見られるが、その理由を教えて欲しい。また、バスレーンが途切れている区間の今後の対応計画などあれば教えて欲しい。	(事務局) バスレーンの不連続区間については、高架橋側道部に関連した個所となっており、主に運用や整備上の課題が存在している。引き続き、バスレーンの連続性確保に向け、交通管理者や道路管理者とも意見交換していきたい。

発言者	主な指摘・意見	回答
琉球大学 神谷委員	● バスの両乗り或いは中乗り前降りに起因する事故の事例や割合について、可能な範囲で調べていただきたい。 ● バスの通勤定期の利便性向上に関しては、例えばポストペイ等の考え方もある。これはデジタル決済側での議論かもしれないが、どこかの中で検討してはどうか。 ● バスサービス水準が最大４割減少とあるが、減少が走行キロであれば道路環境次第で改善できる場合もあるし、運転手であれば労働時間との関係になる。 ● 協力型バスレーンの効果計測については、CCTVやソフト等を活用するなどして、車線別の走行台数を把握することも検討してはどうか。 ● 西普天間は、駐車スペース確保のため関係者が早く出勤していた可能性がある。今後、後期になると駐車場整備が完了するので、早く出勤する必要がなくなれば交通状況が悪化する可能性もある。事後調査の際には大学も連携しながら取り組みたい。	(事務局) ● 事故事例等については、今後整理できるか検討していきたい。 ● ポストペイ等に関しては、デジタル決済の関係でも昨年度意見交換を行っており、引き続き今年度も検討していきたい。 ● 最大４割減少については、考え方としては運転手であるが、具体の調査方法に関しては、業務を進める中で検討していきたい。 ● 効果計測方法に関して、ご意見も踏まえながら、どのような手法で実施していくか今後検討していきたい。 ● 事後調査に関しては、情報共有しながら進めさせていただきたい。

発言者	主な指摘・意見	回答
琉球バス 交通 小川委員	- 乗降方法の関係では、バス停に前のバスが停車している場合は、後ろの車両が歩道に正着できず、お客様が躓く場合もある。運転手には注意義務もあり、乗降扉が多くなると、特に乗降者が多いバス停では問題が生じる場合があると、これまでの経験から感じている。 - 最大4割減に関しては、運転手の年齢構成が60歳代と70歳代で37.5%くらいのため、10年後には構造が変わらないとすれば35%くらいは運転手が不足するのではないかと感じている。	

発言者	主な指摘・意見	回答
バリアフリーネットワーク会議 親川委員	• 那覇空港で、障がい者や高齢者の観光案内にも取り組んでいるが、公共交通を利用したい高齢者等が多い一方で、路線がわかりにくい状況がある。今後超高齢化社会を迎える中、公共交通を使った観光の充実がないと、次の観光リピートにも繋がらないのではないか。 • バスレーンに関しては、時間帯の周知を含めて観光事業者と連携していただき、特に外国人ドライバーの方に少し強めの周知をしていただきたい。 • 中部从那覇方面に通学されている私立高校生は、朝の５時、６時から私立高校のバス乗車のために多くの生徒が並んで待っている。これは生徒の負担にも感じるので路線バスで上手く拾えないかと思っており、そのためにも、その実態等を調べていただければと思う。	(事務局) • 高齢者の公共交通による観光利便性向上も重要と考えており、今後検討させていただきたい。 • 協力型バスレーンの周知に関しては、外国語標記などを含めて、バスレーンＷＴの中で意見交換していきたい。 • 私立学校は、各学校でスクールバスを運行しているところもあることは承知している。一方、地域公共交通の共創の動きもあるので、私立学校関係者とともに情報交換していきたい。

発言者	主な指摘・意見	回答
沖総局開発建設部 岡本代理	● 沖縄の渋滞は大都市以上に酷いが、道路整備しても車の総量は増え渋滞対策に中々結びつかない状況がある。このため鉄道が無い沖縄では、如何に自動車からバスに転換させ、車の総量を少なくしていくことが重要と感じている。 ● 沖縄でもモノレールの利用は増えており、公共交通に転換する素地は十分あると感じている。このため那覇市と沖縄市を結ぶバスを上手く機能させることは非常に重要である。その意味でバスレーンで定時性を確保することは基本的には外してはいけないので、これを実現するためにどうしていくかを考えていく必要がある。また、大量輸送という点では、連節バスが可能であれば、より公共交通への転換は進んでいくのではないかと考えている。 ● 開発建設部としても、胡屋バスタ計画も進めており、バス相互の結節などでより使いやすいうようにしていきたい。また道路整備はしっかり進めていくが、基本的な方針として公共交通に転換させていく取り組みはぶれずにやっていくことが非常に重要と感じている。	

発言者	主な指摘・意見	回答
池田会長	協力型バスレーンの候補区間が示されているが、この中で候補 1 の伊佐～胡屋を強力に推進して欲しい。これは中南部の都市間を結ぶ基幹バスの推進に繋がり、胡屋まで早くバスレーンを延長させることが重要と考えている。	

2. 第 49 回幹事会 議事要旨

日時：令和 8 年 3 月 11 日（水）10:00～11:30

場所：中小企業振興会館ホール

議題

(1) 令和 8 年度事業計画（案）及び予算（案）について

発言者	主な指摘・意見	回答
幹事長代行	内容について意見はあるか。	(一同) 異議なし。

報告

- (1) 第 48 回幹事会・第 43 回協議会の議事要旨
- (2) 基幹バスシステムの導入に向けた取組について
- (3) バス・モノレール半額実証事業の取組について
- (4) 各種広報等に関する取組について

発言者	主な指摘・意見	回答
沖縄県土木建築 部道路街路課 砂辺幹事	● 連節バスについて、導入する理由の記述が少し弱いのではないかと。運転手不足に関する記載だけではなく、“様々な公共交通利用促進策を展開した上での将来的な需要等を見据え連節バスを導入する”といった記載があった方がよいのではないかと。 ● 国道 330 号の普天間交差点について、今回実施された右折車線延伸工事後の効果は検証されているのか教えていただきたい。 ● 協力型バスレーンの路面標示方法については、自動車を運転している方々へのわかりやすさや、施工の経済性を含めて検討していただきたい。	(事務局) ● 連節バス導入に関する記載に関しては、ご意見を踏まえ修正する。 ● 工事後の効果検証については、西普天間 W T も活用しながら、道路管理者と意見交換していきたい。 ● 路面標示に関しては、今後わかりやすさや経済性を含めたものをお示しし、バスレーン延長 W T 等で意見交換させていただきたい。

発言者	主な指摘・意見	回答
沖縄総合事務局 開発建設部 伊藝幹事	• 普天間交差点右折車線延伸工事後の状況について補足させていただくと、工事後のビデオ調査では朝ピーク時ではあまり渋滞は見られない状況にある。しかし、3月時点で高校3年生が卒業の時期でもあり、通常の交通量とは異なることも考えられるため、引き続き交通量調査を実施し、必要な対応を行っていきたいと考えている。 • 協力型バスレーン効果検証について、道路交通への影響の測定方法にトラカンデータとあるので、次頁の道路管理者役割分担の欄にも“トラカンデータの提供”を記載した方が良いのではないかと。	(事務局) • 効果検証の測定方法と役割分担の記載は整合性がとれるよう修正させていただく。

発言者	主な指摘・意見	回答
沖縄総合事務局 運輸部 亀谷幹事	資料４半額実証事業の今後の作業方針について、全OKICA 利用者との比較検証とあるが、モニターに手を挙げた方とは公共交通の指向性に違いがあるのではと思う。サンプリングバイアスで運賃の弾力性が過大な分析結果となりミスリードにならないよう、比較する際は大学の先生を含めて相談しながら検証いただければと思う。	(事務局) ご意見を踏まえ、専門的な方とも意見交換しながら進めていきたい。
沖縄総合事務局 運輸部 崎濱幹事	半額実証事業の効果検証の中で、高校生のバス利用は夕方に多いが、朝は少なくなっている。これは半額パスの利用時間によるものと思われるが、朝は送迎利用が依然として多いのではないかと想定される。一方、バスの通学定期は普通運賃の半額となっているため、定期の利用を促進することで効果が得られるのではないかと考えている。定期は区間内では乗降ができるので、そういったメリットをアピールしながら理解を進めることが重要ではないか。	(事務局) - 通学定期の利用促進の視点も加えていきたい。 - 次年度は、学生や高校生を含めた新たな実証事業を考えており、朝の時間帯を含めることで、通学定期の利用促進にも繋げていきたいと考えている。

以上